

【樹木の部屋】

キンロバイ（バラ科キンロバイ属 *Dasiphora fruticosa*）

和名：キンロバイ（金露梅）

別名：キンロウバイ、キンルバイ

英名：Bush cinquefoil

バラ目 落葉低木

原産地：北半球

花言葉：優美、短い恋

花色：黄



← 写真-1 キンロバイ

撮影日：2013年7月15日

撮影場所：ハイリゲンブルート

(オーストリア)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 キンロバイの蕾

撮影日：2013年7月15日

撮影場所：ハイリゲンブルート

(オーストリア)にて

撮影者：M さん

北イタリアのコルティナダンベッツォからオーストリアのインスブルックに向かう途中に、グロースグロックナー山岳道路のイタリア側入口があるハイリゲンブルートで宿泊したホテルの周囲を散策中に見かけました。ヴィエンツ教会を中心とした小さな村なので、ホテルを出ると、すぐに自然豊かな風景が出迎えてくれました。教会の背景にはグロースグロックナー（オーストリア最高峰 3797m）も望めました。和名のキンロバイは「金露梅」の意で、花が黄色で、梅の花に似ていることからつけられたそうです。日本では北海道、本州、四国、九州の亜高山の瓦礫地に自生しているそうです。

花期は夏で、分枝した各茎先にまたは葉腋に集散花序をつけ、1～数個の花をつけ

ます。花柄があり白毛が生え、萼片は5個あり三角状卵形で、先端は鋭頭です。外側は白い毛でおおわれ、内側には縁と上部に短毛が生え、果時に脈が浮き出ます。副萼片も5個あって倒卵形から剣形で、萼片とほぼ同じ長さかやや長く、先端は鋭頭になり、両面に白い毛が生える。5枚ある花弁は円形で、その内側には多数の雄蕊と雌蕊があります。よく枝分かれして、花が株全体に散らばるように咲きます。1輪の寿命は短いものの、次々と長期間咲き続け、特に冷涼地では秋まで咲くこともあるそうです。

葉は互生し、1～3対の小葉が羽根状に集まる。3小葉または5小葉の奇数羽状複葉になる。小葉は楕円形から狭長楕円形で、先端は鈍頭から鋭頭、基部はくさび形、縁は全縁となって縁が外巻きに巻くか、または巻きません。

葉の表面は濃緑色で縁は全縁です。裏面は淡い緑色で両面に褐色の毛を生じ、茎にも毛が目立ち、個体によっては葉柄にヒレ状の翼があるそうです。樹皮は褐色になり薄くはがれます。

園芸品種は、英国を中心に海外で100以上が育成されているそうで、自生地も広く、地域による変異が多いので、園芸品種にもいろいろな系統や個体差が見られ、バラエティー豊かだそうです。

<ちょっと一言>

*絶滅危惧 II 類

*ときに白色のものがあり、ハクロバイ(別名、ギンロバイ
var. *mandshurica*)に分類されています。